

第 1 回理事会記録 (38.6.28)

出席者：山本会長，岡本副会長，羽田専務理事，江口，岡部，嶋，田中，前沢，三野，渡辺の各理事，末森前専務理事。A. 協議事項：1) 会務担当をつぎのとおり決定した。

総務部 大石(留)，三野(留)，内田(新)  
経理部 田中(留)，江口(新)  
編集  
調査部 岡部(留)，嶋(新)  
研究部 竹ヶ原(留)，佐々木(新)  
連絡部 渡辺(留)，前沢(新)

2) 第 50 回通常総会について：実施を東北支部長に委託することに決定。3) 関東地区常議員選挙の結果報告：開票の結果，当選者氏名を報告。4) 大学土木教育委員会設置については嶋理事より説明がありうち規定案は一応承認するも高校土木教育研究会との関連があるので，嶋理事が研究会ともよく話合って結論を出すことに決定。5) 夏期講習会について嶋理事より説明があり原案のとおり決定。6) 日本建設機械化協会の参与に就任依頼については原案のとおり決定。7) 委員長，委員および支部長委嘱について：a) 50 周年記念事業行事委員会委員長および委員の委嘱を承認，b) 昭和 38 年度各支部支部長の委嘱を承認。8) 50 周年記念事業経過報告につき末森前専務理事より説明。9) その他：a) 学術講演連絡委員会からの申請事項：① 工事管理講習会の実施を承認，② 秋の「エキスカーション」の実施を承認，b) 土木用語委員会設置について：羽田専務理事より(佐藤記念出版委員長よりの申出)，50 周年記念出版の土木用語辞典について，コロナ社と技報堂ではすでに同様なものを発刊する計画を進めているが，同じようなものを三カ所より出版することは学界に混乱を来すから，両社で話合って一本のものにし，土木学会監修として発行したい。そのために学会に土木用語委

員会を設置したい(字数16000 語，1000 ページ，英，独，仏3カ国語収録，昭和 39 年 4 月出版)旨説明があり承認，委員の選考は佐藤委員長，福田，本間 3 氏に依頼する，c) 岡本副会長より提案：海外進出のため示方書の JIS 化を計ること，これら要点については，前沢理事が吉越盛次氏の意見を聞きさらに検討することとする，d) 各種委員会委員委嘱をつぎのとおり承認。

(1) 会誌編集委員会

- 委員  
三池 亮次 建設省土木研究所赤羽分所  
森 重雄 運輸省民営鉄道部  
城野 忠雄 農林省農地局  
原田 信昭 通産省公益事業局  
町田富士夫 国鉄新幹線総局  
梅田 卓郎 日本道路公団計画部  
土屋 昭 東京都道路建設本部  
遠藤 篤康 日本大学  
湯浅 昭 建設技術研究所  
[北海道支部]  
菅原 照雄 北海道大学  
河野 文弘 北海道開発局土木試験所  
[関西支部]  
赤尾 親助 大阪大学  
西村 昭 神戸大学  
[西部支部]  
山内 豊聡 九州大学  
長友 文昭 運輸省博多港工事事務所

(2) 論文編集委員会

- 委員長  
奥村 敏恵 東京大学  
第 1 部会  
委員  
伊藤 学 東京大学  
林 正夫 電力中央研究所  
栗林 栄一 建設省土木研究所千葉支所  
山崎 徳也 九州大学  
第 2 部会  
中川 博次 建設省土木研究所赤羽分所  
大沼 徹 建設省河川局  
第 3 部会  
三木五三郎 東京大学生産技術研究所  
土肥 正彦 日本道路公団高速道路計画部  
神山 光男 武蔵工業大学  
中瀬 明男 運輸省港湾技術研究所  
建部 恒彦 国鉄施設局  
赤井 浩一 京都大学  
第 4 部会  
池守 昌幸 国鉄鉄道技術研究所  
池田 睦治 日本住宅公団宅地開発部  
村上 良丸 建設省道路局  
岡田 宏 国鉄建設局  
鈴木 雄太 東京電力建設部  
藤田 嘉夫 北海道大学

(3) 文献調査委員会

- 川口 昌宏 東京大学  
宮原 玄 早稲田大学  
矢部 正宏 建設省土木研究所千葉支所  
橋本 宏 建設省土木研究所赤羽分所  
森平 倫生 運輸省港湾技術研究所  
伊関 治郎 宮地鉄工所技術部

- 椎名 彪 建設省都市局  
藤井 寿明 建設省土木研究所千葉支所  
富川 房夫 国鉄鉄道技術研究所  
森下 忠幸 東京都水道局工業用水道部  
委員兼幹事  
船越 稔 東京大学

(4) 出版企画委員会

- 委員長  
荒井 力 前田建設工業  
副委員長  
森 茂 コンサルタント  
奥村 敏恵 東京大学  
委員  
伊吹山四郎 建設省土木研究所千葉支所  
岡部 保 運輸省港湾局  
春田屋伸昌 中央大学  
北野 章 建設省河川局  
神山 一 早稲田大学  
駒井 勲 水資源開発公団  
佐藤 一成 西松建設  
嶋 祐之 東京大学  
寺田 速雄 久保田水道ガス工業  
山本 安一 鹿島建設  
幹事  
天野 光三 国鉄施設局  
鈴木 忠義 東京大学  
玉野 治光 首都高速道路公団工務部  
前田 進 運輸省港湾局

(5) 昭和 38 年度八郎潟干拓船越水道

計画施行研究委員会

- 委員長  
本間 仁 東京大学  
委員  
岸 力 北海道大学  
久宝 保 日本大学  
鶴田 千里 運輸省港湾技術研究所  
永井荘七郎 大阪市立大学  
細井 正延 建設省土木研究所  
堀川 清司 東京大学  
溝口 裕 防衛大学校  
幹事  
出口 勝美 農林省農地局調査官  
林 正照 農林省農地局建設部  
中本誠一郎 農林省農地局建設部  
田村徳一郎 農林省農業土木試験場  
山田 茂香 農林省農業土木試験場  
重見 通 農林省八郎潟干拓事務所  
幹事補佐  
中村 充 農林省農業土木試験場  
小島 洸 農林省農地局建設部  
塚本 元 農林省八郎潟干拓事務所

(6) 岩盤力学委員会構成

- 委員長  
岡本 舜三 東京大学生産技術研究所  
常任委員  
中山 謙治 電源開発  
柏木日出治 “  
錦織 達郎 関西電力  
藤井 敏夫 東京電力  
川淵 桂 九州電力  
川淵 桂 京都大学  
渡辺 隆 東京大学  
山本 稔 都立大学  
柴田 徹 京都大学  
松本 繁樹 通産省公益事業局  
岸本 貞男 建設省土木研究所  
小川 哲夫 “  
大久保忠良 “  
安江 朝光 “

柴田 功 建設省関東地建  
 藤原 博晴 建設技術研究所  
 駒井 勲 水資源開発公団  
 佐藤忠五郎 鹿島建設  
 高野 稔 八千代エンジニアリング  
 君島 博次 電力中央研究所  
 井上 康夫 “  
 矢作 文弥 “  
 増田 秀夫 “  
 宮崎 明 建設省河川局  
**委員**  
 浅尾 格 電源開発  
 吉越 盛次 “  
 野瀬 正儀 関西電力  
 吉田 登 “  
 水越 達雄 東京電力  
 鈴木 勇 “  
 田代 信雄 九州電力  
 小沢 章三 四国電力  
 星埜 和 東京大学生産技術研究所  
 最上 武雄 東京大学  
 村山 朔郎 京都大学  
 嶋 祐之 東京大学  
 三島 慶三 連産省公益事業局  
 福岡 正巳 建設省土木研究所  
 石井 文雄 “  
 佐々木正久 建設省河川局  
 村 幸雄 水資源開発公団  
 小林 泰 “  
 伊藤 剛 電力中央研究所  
 畑野 正 “  
 田中 治雄 “  
 阪西徳太郎 水資源開発公団  
 高野 務 三菱地所  
**幹事**  
 進藤 一夫 電源開発  
 飯田 隆一 建設省土木研究所  
 林 正夫 電力中央研究所

(7) トンネル工学委員会 施工小委員会

**委員**  
 南部 繁春 建設省道路局  
**(8) 高校土木教育研究会**  
**委員長** 沼田 政矩  
 後任 福田 武雄 東京大学  
**委員** 千葉 正規  
 後任 吉永恒次郎 兵庫工業高校  
**委員** 今沢 豊正  
 後任 伊藤 道夫 建設省技術調査官  
**常任幹事** 小林 正雄  
 後任 永島三千男 甲府工業高校  
**幹事** 内海 達雄  
 後任 山本 宏 伏見高校  
**幹事** 小林 博  
 後任 鷲森 喜重 京葉工業高校  
**幹事** 森野 久明  
 後任 長尾 嘉寿 岡山工業高校  
**幹事** 上田 利治  
 後任 村山 保 高知工業高校  
 ○幹事 能城正治氏は常任委員となる

(9) 昭和38年度耐震構造設計研究委員会構成

**委員長** 岡本 舜三 東京大学生産技術研究所  
**委員**  
 沼田 政矩 早稲田大学  
 石井 浩丸 八幡製鉄  
 表 俊一郎 建設省建築研究所国際地震工  
 学部

金井 清 東京大学  
 河北 正治 建設省土木研究所  
 倉田 進 運輸省港湾技術研究所  
 白石 俊多 白石基礎工事  
 田原 保二 日本構造橋梁研究所  
 友永 和夫 横河橋梁製作所  
 形須 信治 早稲田大学  
 畑野 正 電力中央研究所  
 星埜 和 東京大学生産技術研究所  
 松尾 春雄 国立大分工業高等専門学校  
 村山 朔郎 京都大学  
 最上 武雄 東京大学  
 横田 周平 東京鉄骨橋梁製作所  
 大地 羊三 国鉄鉄道技術研究所  
 粕谷 逸男 国鉄建設局  
 河野 通之 国鉄構造物設計事務所  
 齋藤 迪孝 国鉄鉄道技術研究所  
 多田 美朝 “  
 富田 善明 国鉄建設局  
 松本 文彦 国鉄建設局  
 和仁 達美 国鉄施設局  
**幹事長**  
 久保慶三郎 東京大学  
**幹事**  
 伊藤 学 東京大学  
 石原 研而 東京大学  
 上前 行孝 首都高速道路公団工務部  
 大久保慎二 “  
 後藤 尚男 京都大学  
 栗林 栄一 建設省土木研究所  
 伯野 元彦 東京大学生産技術研究所  
 林 聡 運輸省港湾技術研究所  
 松野 操平 日本道路公団高速道路第3部付  
 宮崎 昭二 首都高速道路公団工務部  
 吉田 巖 建設省土木研究所  
 浅間 敏雄 国鉄技師長室  
 池田 康平 国鉄構造物設計事務所  
 池田 俊雄 国鉄新幹線総局作業局  
 大山 忠 国鉄施設局  
 岡部 達郎 国鉄建設局  
 川島 吉男 国鉄東京鉄道管理局施設部  
 小寺 重郎 国鉄新幹線総局作業局  
 小林 芳正 国鉄鉄道技術研究所  
 菅原 操 国鉄東京工務局  
 野口 功 国鉄構造物設計事務所  
 藤原 俊郎 国鉄鉄道技術研究所  
 松本 嘉司 国鉄新幹線総局作業局  
 皆川 葉一 国鉄建設局  
 杉田 秀夫 “  
 渋谷 祥夫 “

(10) プレストレスト コンクリート鉄道橋の設計および施工基準に関する研究委員会 (38年度)

**委員長** 国分 正胤 東京大学  
**委員** 沼田 政矩 早稲田大学  
 岡田 清 京都大学  
 横道 英雄 北海道大学  
 隆和 東京大学  
 村田 二郎 都立大学  
 五弓 勇雄 東京大学  
 友永 和夫 横河橋梁製作所  
 上前 行孝 首都高速道路公団  
 山崎 寛司 日本セメント  
 猪股 俊司 日本構造橋梁研究所  
 田原 保二 “  
 宮崎 義成 極東鋼弦コンクリート振  
 興  
 渡辺 和夫 オリエンタルコンクリ  
 ート  
 後藤 幸正 東北大学

長浜 正雄 国鉄新幹線総局作業局  
 粕谷 逸男 国鉄建設局  
 富田 善明 “  
 和仁 達美 国鉄施設局  
 河野 通之 国鉄構造物設計事務所  
 多田 美朝 国鉄鉄道技術研究所  
 三浦 一郎 “  
 富田 勝信 “  
 武尾敏之助 住友金属  
**幹事** 松野 操平 日本道路公団  
 清野 茂次 オリエンタルコンクリ  
 ート  
 丹 泰美 建設省土木研究所  
 岡村 甫 東京大学  
 船越 稔 “  
 西沢 紀昭 中央大学  
 小林 一輔 東京大学  
 宮崎 昭二 首都高速道路公団  
 浜 健介 国鉄  
 齊藤 俊彦 国鉄建設局  
 大山 忠 国鉄施設局  
 小寺 重郎 国鉄新幹線総局  
 松本 嘉司 “  
 菅原 操 国鉄東京工務局  
 割沢 善雄 “  
 樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所  
 池田 康平 国鉄構造物設計事務所  
 野口 功 “  
 小池 晋 “  
 尾坂 芳夫 国鉄新幹線総局

(11) 昭和38年度吉田賞委員会委員

**委員** 綾 亀一 大同コンクリート  
 畑野 謙一 電力中央研究所  
 荒木 正 水資源開発公団  
 生出 久也 鹿島建設  
 岡田 清 京都大学  
 小野竹之助 日本大学  
 加賀美一二三 山口大学  
 国分 正胤 東京大学  
 後藤 幸正 東北大学  
 古賀 登 八幡製鉄  
 柴田 元良 国鉄  
 田中 太郎 セメント技術協会  
 田原 保二 日本構造橋梁研究所  
 仁杉 巖 国鉄  
 藤内 大正 運輸省港湾技術研究所  
 福井松太郎 国鉄技師長  
 水野 高明 九州大学  
 山本 三郎 土木学会会長  
 横田 周平 東京鉄骨橋梁製作所  
 横道 英雄 北海道大学  
**幹事** 菅原 操 国鉄東京工務局  
 西片 守 首都高速道路公団  
 西沢 紀昭 中央大学  
 百島 祐信 鹿島建設

(12) トンネル工学委員会

**委員** 長友 成樹 建設省  
 “ 吉川 新吉 東京電力

(13) 原子力関係コンクリート小委員会委員構成

**委員長** 国分 正胤 東京大学  
**委員** 山崎 寛司 日本セメント  
 杉本 六郎 小野田セメント  
 後藤 幸正 東北大学  
 小林 一輔 東京大学  
 西沢 紀昭 中央大学  
 百島 祐信 鹿島建設  
 村田 二郎 都立大学  
 北川 義男 鹿島建設

野口 功 国鉄構造設計事務所  
青柳 征夫 東京大学  
吉越 盛次 電源開発  
多谷 虎男 東北大学  
岩崎 訓明 東洋大学  
長滝 重義 東京大学  
吉田 弥智 鹿島建設  
土方 保 日曹マスタービルダーズ  
佐藤 博 丸東製作所  
有泉 昌 建設省土木研究所  
伊東 茂富  
角谷 省三 荏原製作所  
高橋 幹二 京都大学  
樋口 芳明 国鉄鉄道技術研究所  
岡部 保 運輸省  
橋本 竜男 電源開発

◎各種委員会 (38.4.24~38.6.26)

(1) 第6回論文集部会長会 (38.4.25)

出席者: 丸安, 山川正副委員長, 吉川, 北川部会長, ほか委員4名, 幹事1名。議事: 1) 各部会報告。2) 著者問合せ原稿について。3) 論文集第93号, 第94号登載原稿について。4) 委員交代について。5) 次回委員会について。

(2) 水理公式集改訂委員会 河川部会

(38.4.24) 出席者: 吉川主査, ほか委員8名。議事: 河川編の原稿につき審議した。

(3) 昭和37年度第2回水理委員会

(38.4.25) 出席者: 伊藤委員長, 横田副委員長, ほか委員19名ほか1名。議事: 1) 第8回水理講演会開催の件ならびに課題の決定: a) 期日 昭和38年10月下旬, b) 会場 大阪市, c) 講演申込 7月31日, d) 原稿締切 8月15日, e) 課題 (1) コンピューターの水理学への応用, (2) 実験計測技術の最近の開発, (3) 洪水。2) 水理公式集改訂委員会の運営状況報告ならびに改訂原稿の審議。3) 委員長ならびに委員の改選をつぎのとおり決定。

委員長 石原藤次郎  
委員兼幹事 岩佐 義明  
千秋 信一

他の委員および幹事については 後月決定する。4) その他。

(4) 第3回土木賞委員会 (38.4.26)

出席者: 藤井委員長, 国分学術賞主査, 岡本技術賞主査, ほか委員11名, 幹事4名。議事: 1) 経過報告。2) 決選投票の開票。3) 授賞論文の決定。4) 土木賞委員の交代ならびに増員の件。5) その他。

(5) 第2回吉田賞委員会 (38.4.26)

出席者: 永田委員長, 大石副委員長, ほか委員16名, 幹事4名。議事: 1) 材料小委員会報告。2) 構造小委員会報告。3) 吉田賞授賞者の決定。4) 吉田研究奨励金小委員会報告。5) 昭和38年度吉田賞委員会構成について。6) その他。

(6) 本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会 (38.4.26) 出席者:

国鉄側幹事5名, 建設省側幹事5名, ほか関係者1名。議事: 基礎に関していろいろ協議した。

(7) 水理公式集改訂委員会 幹事会

(38.4.26) 出席者: 幹事4名。議事: 1) 水理公式集改訂委員会の今日までの各部会の経過報告および各部門の小調整。2) 水理公式集改訂版における用語, 記号 その他の表現方法の統一案を作成。3) 最終合同調整委員会への諸作業。4) その他。

(8) トンネル工学委員会 調査小委員会 (38.4.30) 出席者: 村山主査, ほか委員

10名。議事: 1) 調査編の条文につき審議。2) 今後の運営方針について。

(9) 土木賞委員会主査幹事会 (38.4.30)

出席者: 国分学術賞主査, 岡本技術賞主査, ほか幹事3名。議事: 1) 土木賞受賞理由の原稿審議。2) 第3回土木賞委員会議事録の確認。3) その他。

(10) 第12回会誌編集小委員会 (38.5.6)

出席者: 八十島, 堀正副委員長, ほか委員3名, 幹事1名。議事: 1) 投稿原稿の審査状況。2) 依頼原稿状況。3) 48巻7号編集について。4) 京都大会特集号の取材方法について。5) 新企画について。6) 委員交代の件。7) その他。

(11) 水理公式集改訂委員会 (調整)

(38.5.6~7) 出席者: 横田委員長, 主査4名, 委員7名, 幹事4名。議事: 1) 各部会の今日までの経過報告。2) 記載要領の討議, 決定。3) 合同調整。4) その他。

(12) トンネル工学委員会, 設計小委員会幹事会 (38.5.8)

出席者: 坂本主査, ほか委員7名。議事: 示方書設計編のとりまとめ, 設計土圧をきめるため落盤高さの調査結果につき討議。

(13) 本州四国耐風設計小委員会幹事会 (38.5.8)

出席者: 平井委員長, ほか幹事7名。議事: 1) 第5回小委員会議事録の確認。2) その他。

(14) 第2回異形鉄筋実験研究小委員会 (38.5.8)

出席者: 国分委員長, ほか委員9名。議事: 1) 契約書(案)の承認。2) 研究発表表について。3) その他。

(15) 第12回文献調査委員会 (38.5.9)

出席者: 千秋委員長, ほか委員および幹事16名。議事: 1) 48巻7号登載抄録の決定。2) 文献調査委員会の活動について。3) アンゲートについて。4) 委員の交代について。5) 原稿料について。6) 次回委員会について。

(16) 第1回八郎潟干拓船越水道計画施行研究委員会 (38.5.10)

出席者: 本間委員長, ほか委員4名, 幹事4名, 幹事補佐3名, 関係者4名。議事: 1) 昭和37年度報告書について。2) 委員会構成について。3) 今後の活動方針について。4) その他。

(17) 第5回衛生工学委員会 (38.5.11)

出席者: 広瀬委員長, ほか委員11名, 関係者1名。議事: 1) 経過報告。2) 募金について。3) International Conference on Water Pollution Research よりの文書答申について。4) 衛生工学懇親会について。5) その他。

(18) 本州四国耐震設計小委員会第2回幹事会 (38.5.13)

出席者: 岡本委員長, ほか委員12名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 第2回小委員会の議事。3) 委員追加の件。4) 第3回幹事会について。5) その他。

(19) 第10回原子力土木技術委員会

(38.5.13) 出席者: 左合委員長, ほか委員7名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 科学技術庁委託研究費申請について。3) 原子力分野における土木工学。4) 水理学における放射性同位元素利用に関する問題。5) 今後の研究方針について。6) 次回委員会について。

(20) 本州四国第6回耐風設計小委員会 (38.5.15)

出席者: 平井委員長, ほか委員23名, 関係者4名。議事: 1) 日本建築学会鋼構造委員会委員の紹介。2) 新任委員の紹介。3)

前回議事録の確認。4) その他。

(21) 第1回岩盤盤力学常任委員会

(38.5.17) 出席者: 常任委員11名, 委員4名, 幹事2名。議事: 1) 第1回岩盤盤力学委員会議事録について。2) 委員会内規について。3) 今後の運営方針について。4) 会誌講座について。5) シンポジウムについて。6) 委員の変更について。7) 第2回アジア地区土質基礎工学会議発表論文のうちの岩盤盤力学関係論文の紹介。8) 次回常任委員会について。9) その他。

(22) トンネル工学委員会 主査幹事会

(38.5.18) 出席者: 委員12名。議事: 1) 今まで, 調査, 設計, 施工の各小委員会が決定した示方書原案につき, 各主査から紹介, 調整を行なった。2) 今後総括的にとりまとめて行くため, 編集小委員会を設置した。3) 次回編集委員会の予定について。4) その他。

(23) 原子力関係コンクリート小委員会打合せ (38.5.18)

出席者: 国分委員長, ほか委員5名。議事: 科学技術庁よりの委託研究申請につき打合せを行なった。

(24) 耐震構造設計研究委員会打合せ

(38.5.21) 出席者: 久保幹事長, ほか幹事6名。議事: 1) 昭和38年度調査研究計画について。2) 昭和38年度委員会構成について。3) その他。

(25) 第5回出版企画委員会 (38.5.21)

出席者: 荒井副委員長, ほか委員4名。議事: 1) 工事誌類の出版について。2) 高校向け出版物について。3) PR委員会について。4) その他。

(26) トンネル工学委員会調査小委員会 (38.5.21)

出席者: 村山主査, ほか委員7名。議事: 示方書調査編につき審議を行なった。

(27) 本州四国連絡橋技術調査委員会第3回委員会 (38.5.22)

出席者: 田中委員長, ほか委員14名, 幹事4名, 幹事補佐3名, 関係者7名。議事: 1) 委員幹事の移動について。2) 前回委員会議事録の確認。3) 昭和37年度調査経過報告および最近の情勢について。4) 各部会, 小委員会における調査研究の経過報告。5) その他。

(28) 第13回会誌編集委員会 (48.5.23)

出席者: 八十島, 堀正副委員長, ほか委員および幹事9名。議事: 1) 投稿原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 依頼原稿について。4) 48巻8号会誌編集の件。5) 委員交代について。6) その他。

(29) 本州四国上部構造に関する専門部会幹事会 (38.5.27)

出席者: 国鉄側幹事5名, 建設省側幹事5名。議事: 1) 第3回専門部会議事録の確認。2) その他。

(30) 本州四国基礎に関する専門部会幹事会 (38.5.28)

出席者: 国鉄側幹事7名, 建設省側幹事8名, 関係者3名。議事: 種々打合せを行なった。

(31) 水理公式集改訂委員会 主査幹事会 (38.5.28)

出席者: 横田委員長, ほか主査4名, 幹事4名。議事: 1) 水理公式集の各部会の調整。2) 今後の計画について。3) その他。

(32) トンネル工学委員会 施工小委員会 (38.5.29)

出席者: 住友主査, ほか委員13名。議事: 合同主査幹事会の審議結果について報告の後, 施工編全般につき調整を行なった。

(33) 本州四国第7回耐風設計小委員会

会幹事会 (38.5.31) 出席者：平井委員長，ほか委員 5 名。議事：1) 第 6 回小委員会議事録の確認。2) 第 7 回小委員会議事について。3) その他。

(34) 第 8 回海外連絡委員会 (38.6.3) 出席者：委員 6 名，八十島幹事長ほか幹事 2 名。議題：1) 英文年報の取次について。2) 委員長，委員の交代について。3) ストックホルム大学生防日に関する報告。4) その他。

(35) 第 1 回会誌編集小委員会 (38.6.24) 出席者：八十島，塚正副委員長，ほか委員 2 名。議事：1) 48 巻 7 号の編集につき最終的な打合わせを行なった。2) 北海道特集号の編集について。3) 座談会の件。4) モニター制について。5) 巻頭言および時事解説について。6) その他。

(36) 本州四国第 4 回上部構造に関する専門部会 (38.6.4) 出席者：青木部会長，ほか委員 15 名，幹事 12 名，ほか 4 名。議事：1) 第 3 回専門部会議事録の確認。2) その他。

(37) 原子力関係コンクリート委員会幹事会 (38.6.4) 出席者：委員 5 名。議事：1) 科学技術庁委託研究申請書について。2) 小委員会構成について。3) 今後の運営方針について。4) その他。

(38) 第 1 回論文集各部委員会 (38.6.5) 出席者：第 1 部会・奥村(新)・北川(前)両部会長，ほか委員 11 名，第 2 部会・吉川部会長，ほか委員 6 名，第 3 部会・山川(前)・三木(新)両部会長，ほか委員 7 名，第 4 部会・丸安(前)・村田(新)両部会長，ほか委員 8 名，ほか西脇幹事。議事：1) 各部会が審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 新旧両委員の事務引きつぎ。4) 38 年度部会長，部会幹事の選出。

部会長	部会幹事
第 1 部会 奥村 敏恵	伊藤 学
第 2 部会 吉川 秀夫	安芸 周一
第 3 部会 三木五三郎	吉田 巖
第 4 部会 村田 二郎	池守 幸幸

5) その他。

(39) 文献調査委員会打合せ (38.6.6) 出席者：千秋委員長，ほか委員および幹事 3 名。議事：1) アンケート結果の整理。2) 国際会議論文集リスト整理。3) カード担当雑誌分担案作業。4) 新旧幹事事務引きつぎ。

(40) 水理公式集改訂委員会上下水道部会打合せ (38.6.7) 出席者：委員 2 名。議事：水理公式集の図面校正を行なった。

(41) 水理公式集改訂委員会港湾部会打合せ (38.6.7) 出席者：岩垣主査，ほか委員 3 名。議事：水理公式集の図面校正を行なった。

(42) 第 1 回文献調査委員会 (38.6.7) 出席者：千秋委員長，ほか新旧委員および新旧幹事 22 名。議事：1) 48 巻 8 号登載抄録の決定。2) 文献調査委員会の活動について。3) アンケートについて。4) カード担当雑誌の分担について。5) 幹事および部会幹事の決定。6) 次回委員会について。

(43) 本州四国第 7 回耐風設計小委員会 (38.6.8) 出席者：平井委員長，ほか委員 33 名，関係者 3 名。議事：1) 第 6 回小委員会

の議事録の確認。2) その他。

(44) 第 5 回學術講演連絡委員会 (38.6.10) 出席者：林委員長，ほか委員 11 名。議事：1) 學術講演連絡委員会第 1 回懇談会報告。2) 夏期講習会講師，題目，時間および見学場所の決定。3) 京都における総会，年次講演会について。4) 講座の実施方法。5) 秋のエキスカーションの予定地選出。6) その他。

(45) 本州四国第 2 回耐震設計小委員会 (38.6.11) 出席者：岡本委員長，ほか委員 30 名，関係者 3 名。議事：1) 第 1 回小委員会議事録の確認。2) その他。

(46) 第 66 回耐震工学委員会 (38.6.11) 出席者：那須委員長，ほか委員 9 名。議事：1) 国内研究連絡委員会について。2) I.A.E.E. について。3) 38 年度第 6 回 地震工学研究発表会について。4) 本州四国・耐震設計小委員会について。5) 地震工学国内シンポジウムプロシージャングスについて。6) その他。

(47) 本州四国耐震設計小委員会第 3 回幹事会 (38.6.12) 出席者：委員 14 名。議事：1) 第 2 回小委員会提出資料について。2) 第 3 回小委員会提出資料について。3) 第 4 回幹事会提出資料について。4) その他。

(48) トンネル工学委員会編集委員会 (38.6.12) 出席者：加納小委員長，ほか委員 6 名。議事：1) 総則の条文立案について。2) 今後の運営方針について。3) 委員の追加について。4) その他。

(49) 原子力関係コンクリート小委員会 (38.6.13) 出席者：国分委員長，ほか委員 14 名。議事：1) 委員会構成の決定。2) 科学技術庁研究委託申請について。3) 試験研究の分担および運営方法について。4) 放射性廃棄物の海洋投棄用容器についての文献紹介。5) その他。

(50) 耐震構造設計研究委員会打合せ (38.6.14) 出席者：久保幹事長，ほか幹事 7 名。議事：1) 荒川橋梁ボーリング図について。2) 38 年度計画(案)について。3) 第 1 回委員会について。4) その他。

(51) 第 1 回論文集部会長会 (38.6.14) 出席者：丸安，奥村両新旧委員長，ほか部会長 4 名，委員および幹事 8 名。議事：1) 各部会報告。2) 論文集第 95 号，第 96 号登載原稿の決定。3) 新委員会への申送り事項について。4) 副委員長に吉川秀夫部会長を選出。5) その他。

(52) 水理公式集改訂委員会港湾部会打合せ (38.6.14) 出席者：委員 2 名。議事：1) 水理公式集の図面校正を行なった。

(53) 37 年度吉田賞最終委員会 (38.6.17) 出席者：永田委員長，大石副委員長，ほか委員 3 名，幹事 4 名。議事：1) 38 年度委員会の構成について。2) 引継ぎ事項について。3) 規程内規の改正について。4) その他。

(54) 第 6 回衛生工学委員会 (38.6.19) 出席者：広瀬委員長，ほか委員 12 名，関係者 1 名。議事：1) 前回議事録の承認。2) 第 2 回国際水質汚濁会議第 1 回運営委員会報告。3) 同会議運営資金の募金方法について。4) 現在までのアブストラクトの応募状況について。5) 衛生工学懇親会の開催。6) その他。

(55) トンネル工学委員会設計小委員会 (38.6.20) 出席者：坂本主査，ほか委員 11

名。議事：示方書編集小委員会に送付する原稿の調整を行なった。

(56) 会誌編集委員会 (38.6.21) 出席者：八十島委員長，ほか委員 30 名。議事：1) 委員紹介。2) 編集方針について。3) 主査，幹事の決定。4) その他。

(57) 第 2 回岩盤力学常任委員会 (38.6.21) 出席者：岡本委員長，ほか常任委員 14 名，委員 2 名，幹事 2 名。議事：1) 第 1 回常任委員会の議事録の承認。2) 委員会資金募金について。3) 内規の決定。4) 分科会の構成。5) 会誌講座について。6) 岩盤の変形特性に関する考察。7) 湯田ダムおよび矢木沢ダムの岩盤実験について。8) 次回委員会について。

(58) PC 鉄道橋設計基準および施工基準に関する研究委員会幹事会 (38.6.21) 出席者：幹事 8 名。議事：1) 委員会構成について。2) 38 年度の運営方針について。3) その他。

(59) 高校土木教育研究会第 7 回幹事会 (38.6.22) 出席者：八十島幹事長，ほか幹事 9 名。議事：第 5 回 委員会の議事について打合わせを行なった。

(60) 高校土木教育研究会第 5 回委員会 (38.6.22) 出席者：沼田委員長，ほか委員 5 名，八十島幹事長，ほか幹事 9 名。議事：1) 指導書の編集について。2) スライド，映画製作について。3) 今後の活動について。4) 委員，幹事の構成について。5) その他。

(61) 臨時出版企画委員会 (38.6.22) 出席者：佐藤，荒井正副委員長，奥村幹事長，小池幹事。議事：1) 土木工学用語辞典の監修問題と出版社の調整。2) 38 年度出版企画委員会の構成。3) 50 周年記念出版委員会の運営。4) 工事誌類の出版計画。5) その他。

(62) 第 11 回原子力土木技術委員会 (38.6.24) 出席者：左合委員長，ほか委員 12 名，関係者 2 名。議事：1) 前回議事録の承認。2) 科学技術庁委託研究費の申請について。3) 原子力分野における土木工学について。4) 今後の運営方針について。5) 水理学における放射性同位元素の利用に関する問題について。6) 次回委員会について。

(63) 本州四国上部部会高張力に関する打合せ (38.6.25) 出席者：青木部会長，ほか委員 2 名，幹事 8 名，特別委員 7 名，関係者 4 名。議事：1) 高張力鋼に関する打合わせを行なった。2) その他。

(64) 本州四国第 8 回耐風設計小委員会，幹事会 (38.6.26) 出席者：委員 5 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) その他。

(65) コンクリート委員会幹事会 (38.6.26) 出席者：国分委員長，ほか委員 10 名。議事：1) 軽量骨材に関するシンポジウムの開催について。2) 異形鉄筋の JIS について。3) リレムよりの文書について。

(66) 異形鉄筋設計研究小委員会打合せ (38.6.26) 出席者：国分委員長，ほか委員 4 名。議事：1) 鋼材クラブよりの委託による成果物による講習会開催につき打合わせを行なった。

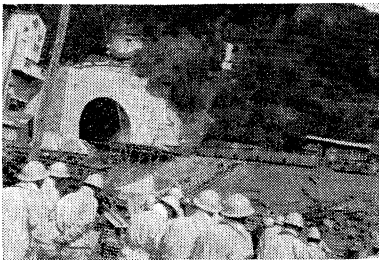
## 支 部 だ よ り

### ◎ 中部支部

(1) 第1回役員会および第1回幹事会 (38. 4. 14~15, 伊東市にて) 出席者: 松見支部長, 渡辺幹事長, ほか 28 名。議事: 1) 役員の選任について。2) 37 年度収支決算の件。3) 38 年度予算の件。4) 38 年度行事予定について。5) その他。

見学: 建設省比護岸工事, 国鉄東海道新幹線, 由比トンネル工事, 伊豆スカ

#### 国鉄由比トンネル見学



イラインを視察。

(2) 第2回幹事会 (38. 5. 14, 大津橋会館) 出席者: 渡辺幹事長, ほか 20 名。報告事項: 1) 支部大会。2) 第1回見学会の件。3) 会員の異動の件。4) その他, ①賛助会員の件, ②第1回役員会の件。協議事項: 1) 論文集編集委員会地方委員の推せん。2) 7 月の講演会について。3) 8 月の見学会の件。4) 9 月の講演会について。5) 10 月研究発表会について。

(3) 第1回見学会 (38. 5. 21) 東海道新幹線浜名湖現場 (PC 桁架設および護岸工事), 参加者: 98 名。

(4) 38 年度支部年次大会 (38. 6. 8~9, 松本市) 議事: 1) 37 年度事業報告。2) 37 年度決算報告。3) 38 年度事業計画。4) 38 年度予算案について。5) 38 年度支部役員について。参加者: 総会 50 名, 見学会 40 名, 懇親会 40 名。

(5) 第3回幹事会 (38. 6. 18, 名古屋観光会館) 出席者: 渡辺幹事長, ほか

17 名。報告事項: 1) 本部総会について。2) 第1回見学会について。3) 支部大会について。4) 役員の異動について

評議員(前任)

黒羽 仁, 小谷 金馬

評議員(新任)

北岡寛太郎 (国鉄静鉄局施設部長)

中村儋治郎 (KK間組名古屋支店長)

幹事(前任)

内 田 正 人

幹事(新任)

門脇慶太郎(関西電力東海支社土木課長)

5) 10 月の研究発表会について。6) 9

月の第2回講演会の件。7) その他。

協議事項: 1) 特別研修会(技術講座)の件。2) その他。

### ◎ 関西支部

(1) 学生のための映画会(第2回) (38. 6. 15, 大阪府職員会館)

上映映画: ワイドフレンジー—ヘドロ  
に建つ製鉄所, 繁栄への道  
(計画編), 奥只見—豪  
雪に築く, 東海道新幹線第  
1 部, 第 2 部。

参加者: 68 名。

(2) 第1回商議員会 (38. 6. 20, 土木学会関西支部事務局) 出席者: 商議員: 11 名, 常議員: 2 名, 支部長, 幹事長, 幹事 12 名。

(3) 第1回幹事会 (38. 6. 5, 土木学会関西支部事務局) 出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, 幹事 12 名。

(4) 第2回幹事会 (38. 6. 20, 土木学会関西支部事務局) 出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, 幹事 12 名。

(5) 土木学会総会実行委員打合せ (38. 6. 8, 土木学会関西支部事務局) 出席者: 矢野委員長, 総務委員 3 名, 財政委員 3 名。総会委員・講演委員 4 名, 見学委員 3 名, 新幹事 2 名。

### ◎ 中国四国支部

(1) 第3回幹事会 (38. 6. 5, 泉邸会館) 出席者: 西村, 山本(前)支部長, 銀山, 鈴紀(前)幹事長, ほか幹事 6 名。議事: 西村支部長より挨拶があり, つぎ

のような打合わせを行なった。1) 「支部管内代表的記事」の提供について。2) 38 年度行事の企画について: ①見学会・見学予定箇所として 6 地点を決定, ②講習会, (i) 生コン, PS などに関連したもので行なう, (ii) その他適当なものがあれば取り上げる, ③支部学術講演会・10 月下旬広島市において開催, ④映画会 (i) 学生を対照とした映画会を開く。(ii) 土木事業の PR として一般を対照とした映画会の企画。

### ◎ 西部支部

(1) 第1回幹事会 (38. 5. 13) 出席者: 坂梨幹事長, ほか 13 名。議事: 1) 見学会開催の件。2) 会誌に「九州特集号」を掲載する件につき打合わせた。3) 座談会開催の件。4) その他。

(2) 座談会「北九州市を語る」(38. 6. 5, 北九州市小倉日活会館) 出席者: 座談会関係 12 名, 関係者 6 名, 学会誌 9 月号登載を予定して関係者に集まっていた標記の座談会を開催した。

(3) 本部編集部・支部役員懇談会 (38. 6. 6, 福岡市建設省共済組合福岡保養所) 出席者: 本部八十島編集委員長, ほか 3 名, 支部坂梨幹事長, ほか 18 名。議事: 座談会記事および九州特集号編集などにつき打合わせを行なった。

(4) 見学会 (38. 6. 7) 行程: 大分駅前~鶴崎公民館(臨海工業地帯造成計画説明および昼食)~1 号埋立地(埋立地造成状況, 工場建設状況見学)~工業用水水源池~大野川越流堤~大分駅~別府駅~日出付近国道 (Fe 石灰などによる路盤およびのり面安定処理工法, 説明および実演)~別府駅解散  
参加者 199 名。

(4) 第1回運営調査会 (38. 6. 15) 出席者: 村上委員長, ほか 6 名。議事: 1) 支部基金の運用について。2) 支部旅費規則制定について。3) 夏期講習会の件。4) 新材料・新工法発表会開催の件。5) 「北九州市を語る」座談会・見学会報告。6) その他

(5) 第2回幹事会 (38. 6. 20) 出席者: 高橋幹事, ほか 12 名。議事: 1) 運営調査会の経過報告。2) 夏期講習会開催の件。3) 特集号編集の件。4) その他。

### 昭 和 38 年 度 土 木 学 会 誌 編 集 委 員

委員 長	八 十 島 義 之 助				委員兼幹事	
委 員	石 井 文 雄	梅 田 卓 郎	遠 藤 篤 康	大 山 忠 士	後 藤 績 三	佐 藤 尚 徳
	斉 藤 俊 彦	城 野 忠 雄	千 秋 信 一	土 屋 昭 昭	奈 良 部 俊 雄	南 部 繁 春
	新 谷 洋 二	原 田 信 昭	藤 井 喬 喬	町 田 富 士 夫	三 池 亮 次	森 南 繁 麟
	森 重 雄	森 本 茂 男	湯 浅 昭	渡 辺 隆		
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中四支部)	(西部支部)
	菅 原 照 雄	三 浦 晃	酒 井 清 次 郎	赤 尾 親 助	長 尾 満	山 内 豊 聡
	河 野 文 弘		増 田 重 臣	西 村 昭	門 田 博 知	長 友 文 昭

**編集  
後記**

● “苫小牧工業港の完成と北海道総合開発を語る” という座談会

をひらく機会に、学会誌の北海道特集号を出したいという編集委員会からのお話があったのは4月の始めのころであった。そのころから少しずつ準備はつづけていたのであるが、本格的な編集活動をはじめたのは締切もせまった6月中旬からである。昔のぎりぎりの試験勉強の悪いくせがこんなところにも顔を出したわけである。

● さて、私達が一番苦心したのは、与えられた20ページ前後のスペースに、土木工学の立場から眺めた北海道開発の全貌をどうして盛りこむかということであった。

結局、話しあいのすえ落ちついたところは、なるべく“表”としてま

とめるということであった。ちょうど美事な紀行文を読むことは、数字ばかりの汽車の時刻表で地方の駅名などをたどっているときにかえって旅情を感じたりする、あの効果をねらおうというわけである。文中に掲げた多くの“表”の行間から北海道の開発の息吹きを汲みとっていただければわれわれとしてこの上ないよろこびである。

● いわゆる“寒冷地土木”は北海道のもつ宿命ともいうべきもので、この解決なしにはわれわれの前進はありえないのである。各分野において実際に仕事にたずさわっておられる方々から、問題の所在と解決の方向などについて書いていただいた。

しかし、スペースの関係で問題点の提示だけにとどまって十分意をつ

くせなかったことは残念である。

このほか、事業量の季節的変動に対応する請負事業のあり方、技術者の絶対数の不足など社会的な問題も多いが、これらの問題もまた別の機会にゆずりたいと思う。

● 近年の北海道の観光ブームは異常といってよいほどである。北海道の広さと新鮮さと適度の異国情緒などがその魅力なのであろう。そこで、詩人であり、郷土史研究者でありかつ名著「北海道の旅」の著者である更科氏に“観光と北海道”の原稿を特にお願した。美しい文章のなかにわれわれ土木屋も反省しなければならぬいくつかの示唆がのべられている。味読をこう次第である。

(板倉・岸・林  
計良・伊福部・記)

**会員入退会について(昭和38.6.1~6.30)**

入会	240名	(正60 学177 特1.C 2 特1.D 1)
復活	3名	(正)
退会	34名	(正26 学8)
死亡	2名	(名誉1 正1)
転格	6名	学→正5 正→学1

**特別員の入退会**

○入会

昭和38.6.11	特1.C	日本建設コンサルタントKK	東京都港区赤坂溜池町16
” 38.6.14	”	KK技報堂	東京都港区赤坂溜池町5

**会員現在数(昭和38.6.30現在)**

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特1.A	特1.B	特1.C	特1.D	特2	計	(増)
52	14268	1612	30	18	15	40	194	283	25	16537	(207)

名誉員	佐伯利吉君	不二建設KK取締役社長	昭和38.6.30 死去	75才
正員	木村稔君	電源開発KK本別建設所長	昭和38.6.12 死去	48才

昭和38年8月10日印刷

昭和38年8月15日発行

土木学会誌第48巻第8号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 羽田巖

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料20円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番

最新土木施工法講座第7巻

# 河川施工法Ⅱ河川構造物

首都高速道路公団理事 川村満雄・関東地建河川部長 佐藤 史共著 / A5判・520頁・価1,200円

10年の歩みと98のダム 日本の

## 多目的ダム 土質便覧

国土総合開発の母胎である多目的ダム建設の現状とその成果を集録したダム建設関係者の必備資料集です。全国河川総合開発促進期成同盟会編 / 建設省河川局開発課監修 / B5判上製602頁・価2800円 / 発売中

土質調査・試験法から施工・管理全般および諸規格の全貌を網羅した、各国土木技術界渴望の貴重文献集。米国内務省開拓局編 / 京大土木会アースマニュアル翻訳委員会訳 / 新書判上製400頁・予1200円 / 8月発売

今月の土木ライブラリー

②4写真測量 航空写真から地図のできるまで 西村・佐々波共著 予500円

②5アンダーピニング工法 石田 一郎著 予 価 500円

●お近くの書店でおもとめください

山海堂 東京新宿細工町  
振替東京194982

株式会社 鹿島研究所出版会

アーチダム U.S.A 内務省開発局 編  
工博 井田至春 訳

A4・610頁・¥2,000・予230  
Reclamation Manual. Treatise on Dams.  
第10章アーチダムの全訳。ダム技術者の最適の資料。

機械化施工合理化の研究 佐用 泰司 著

A5・278頁・¥450・予90  
機械化施工の計画・管理の合理化につき実際の、基礎的理論の体系化の成果を集録。

基礎反力の解法 柴田 直光 著

B5・114頁・¥300・予60  
非荷ならびに弾性盤上の荷に関する計算法を実用化するために書かれた著者多年の研究の集成。

傾斜心壁形フィルタイプダムの浸潤線・透水量に関する研究 工博 福田 秀夫 著

A5・220頁・¥400・予80  
ゾーン式フィルタイプダムの理論、施工方法、特に浸潤線と透水量についての貴重な実験データ。

工事原価管理 佐用 泰司 著

A5・171頁・¥350・予70  
建設業者にとって適正な見積は成功の第一歩。本書は工事計画、管理を正しく理解する必携書。

吊橋設計資料 柴田 直光 著

B5・58頁・¥180・予40  
吊橋の簡単な理論と設計について、特に現場の技術者の便を図り、多くの表と図表を収めた。

爆破によるダム基礎掘削における設計施工上の諸問題 工博 佐藤 忠五郎 著

B5・111頁・¥350・予70  
日本土質工学界の最高權威の著者が、研究の結果前人未踏の数表を開拓されたもの。

バイブロフロテーション工法 工博 渡辺 隆 著

B5・94頁・¥280・予70  
砂地盤の改良に盛んに利用される本工法的面から述べた貴重な研究論文。

お買求めは  
お近くの書店へ  
〈図書目録進呈〉

東京都港区芝田村町5-9浜ゴムビル5階 電話(581)8911 振替口座東京180883